

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 知識・技能の定着
 - ・学校評価アンケート「授業の内容がよく分かります」の数値を75%以上にする。
 - ・さいたま市学習状況調査「算数の授業の内容は良く分かりますか」の数値を5pt向上させる。
- 思考力、判断力、表現力の育成
 - ・さいたま市学習状況調査の「解き方や考え方が分かるように工夫してノートに書いて理解するようにしている」「問題を解くときにブロックや絵、図、式、などを使って問題場面を表して解こうとしている」の質問に対する肯定的な割合を令和2年度より向上させた値にする。
- 学校研究主題「主体的・対話的に学び合う授業づくり」(算数科)を意識した主体的に学習に取り組む態度の育成。
 - ・「よい授業」のアンケートの因子4(児童生徒の活動)の数値を2回目のアンケートにおいて向上させる。

具体的な手立て

- ①浦和別所小スタンダードを使った算数科授業づくり
授業の流れ、板書、ノート指導の統一による授業のユニバーサルデザイン化
- ②算数学習アンケートの実施による児童の実態把握を基に考察し、それを生かした指導法の確立
「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の実施
- ③教室の掲示物(算数コーナー、学びのあしあと)の工夫による既習事項の定着
- ④朝学習「算数タイム」や授業での「ドリルパーク」等の活用による履歴等を生かした個別対応
- ⑤授業の様々な場面(自力解決後、練り上げの場面、適用問題)における伝え合い活動の設定
- ⑥ICTを効果的に活用した授業づくり
- ⑦学習面、生活面において、最後まで取り組んだり、挑戦しようとしたりすることを意識できるような活動の設定と、常時の声掛けと支援の実践
- ⑧授業に話し合い活動や自分の考えを伝える活動を意図的に取り入れる工夫

結果

- 「授業の内容がよく分かります」の数値が73%とほぼ同等の数値であった。
- さいたま市学習状況調査「算数の授業に内容はよく分かりますか」の数値について2.7pt向上した。
- 「よい授業」のアンケート因子4(児童生徒の活動)の数値について向上した。

今年度の振り返り・次年度に向けて

校内研修での取組を生かし、「浦和別所小スタンダード」として全校で統一した方法での算数科授業づくりを通して、授業のユニバーサルデザイン化を行った。その中で、授業の様々な場面(自力解決後、練り上げの場面、適用問題)において伝え合いの活動を重視して実施することができた。ICTの活用も積極的に行ってきたため、授業内での効果的な使用方法を考えることができた。

来年度は、人権教育を研修に取り入れるため、今年度までの研究を基盤として、児童が心を耕せるような授業づくりを新たに実施していく。